

○ 放送日 令和元年5月21日(火)、5月28日(火)

○ テーマ

「霧ヶ峰の豊かな自然を後世に残すため実施する、草原の保全再生作業に参加してみませんか。」

○ 出演者

諏訪地域振興局環境課 主事 大月 光太郎

○ 聞き手とのやりとり(概要)

Q1 霧ヶ峰の現状について教えてください。

- ・ かつては採草地として人の手が入っていましたが、昭和30年代以降、人の手が入らなくなってからは、比較的生い茂りやすいススキやササが多くなったり、近年ではオオハングソウのような外来植物が侵入してきたりと、霧ヶ峰の生態系への影響が心配されています。

Q2 そういった中でこのような作業を行うということだと思いますが、具体的にはどのような作業を実施するのですか。

- ・ 外来植物の駆除や優占種の除去などの作業を、平成26年度から行っています。これは、地権者・自治会・観光団体・運輸団体・自然保護団体・学識経験者・行政など41団体から構成されている霧ヶ峰自然環境保全協議会(通称：みらい協議会)が主催しています。

Q3 今年度の作業の予定はどうなっていますか。

- ・ 今年度は6月から9月にかけて、合計6回の作業を行う予定です。
- ・ これまで5年間この作業を行っていますが、毎年、多くのボランティアの方に参加いただいております。昨年度は9回の作業で、ボランティアの方を含めて、延べ400人以上の方にご参加いただきました。
- ・ そして現在、今年度の作業に参加していただけるボランティアの方をみらい協議会で募集しています。
- ・ 作業は、それぞれの参加者のペースでやっていただければ大丈夫ですし、作業で使う道具なども当日お貸ししますので、あまり難しく考えずに、お気軽にご参加いただければと思います。

Q 4 今年度は合計6回作業があるということですが、6回すべてに参加できる方でないといけないということですか。

- いいえ、6回のうち1回でも2回でも、できる範囲でご参加いただければと思います。
- 基本的にすべての作業は、現地に9時前頃集合いただいて、作業の説明などをさせていただいてから実際に作業を行い、午前中には作業を終える、というようなスケジュールになっています。
- 参加申込や詳しいことは、長野県諏訪地域振興局環境課のホームページをご覧ください。電話0266-57-2952までお問い合わせください。

Q 5 平成26年度から作業を実施しているということですが、効果はありましたか。

- 昨年は作業を行った車山肩で、かなり多くのニッコウキスゲが見られました。これは、その場所で多く生えていたニッコウザサの刈り取り作業の効果もあると考えています。ニッコウキスゲの見頃は7月中旬頃になりますので、ぜひ皆さんも霧ヶ峰を訪れてみてください。
- また、車山肩では、ニッコウキスゲをはじめとする貴重な動植物を、二ホンジカによる食害から守るため、シカ除けの電気柵も設置していて、これも効果を発揮しています。霧ヶ峰では他にも複数のエリアでシカ柵の設置が行われており、ボランティアの皆さまによる保全再生作業と合わせて、霧ヶ峰の貴重な動植物の保全や再生にとって大切なものとなっています。

Q 6 最後に。

- 今年の作業は、6月1日、池のくるみでのハルザキヤマガラシ駆除作業からスタートします。
- 霧ヶ峰の豊かな自然を後世に残すために、多くのみなさまと活動をご一緒できればと思っています。たくさんの方のご参加、お待ちしております。